

番号		意見の概要	対応状況
1	指標	No.1-1 「ものづくり人材育成事業」について成果指標として「出前講座等の参加企業数」となっているが、この目標値の達成がものづくり人材の育成に繋がっているのか？	当該事業では学生を対象に企業による出前講座、ものづくり人材セミナー、工場見学等を実施している。目指す成果としては、「人材育成に寄与することで、広域圏におけるものづくり事業の推進を図ることができること」であり、多くの企業に出前講座等、参加いただけることで、学生への多様な業種の紹介に繋がると考えられる。
2	指標	No.2-2、3 「幹線道路整備事業」について、整備の進捗がビジョンにおける目的と合致しているのか？	幹線道路事業は都市圏ビジョンにおける戦略2として位置付けており、各市町を結ぶ交通ネットワークの充実を進めることで、医療や産業などの相互作用や高度連携が見込まれ、人やモノの流れの活性化に繋がると成果としている。それ故、幹線道路道路の整備が広域圏における公共交通網の発展につながるため、ビジョンの目的と合致していると考えられる。
3	全体	農業分野での広域連携はないのか？	盛岡広域首長懇談会の下部組織として、広域で取組むべき課題について専門的に調査、検討する部会として、専門部会を組織、運営している。（人材育成、観光振興、「食・農」推進、施設共同利用、地方創生連携、自然災害対策の計6部会） 農業分野に関する連携としては、「食・農」推進部会にて6次産業化及び地産地消等の推進につなげる取組の検討している。令和4年度では6次産業化実践者を訪問しての現地研修や、農業以外の業種が個々に持っている経営に関する情報等について意見交換や勉強会等を実施している。
4	全体	紫波町では共同利用できる公共交通があり、広域での展開を検討できないか。	広域への展開については、既存の公共交通に影響がないことが前提となるため、広域で一律に導入することは困難である。それぞれの地域の既存の公共交通の状況やニーズを把握したうえで、導入可能なエリアの検討から進めていく必要がある。 【参考】 紫波町では、デマンド型の乗合バスが運行（タクシー会社へ委託）されています。 ・運行車両一ワゴンタイプ、最大乗車人数8人 ・運行エリアー紫波町全域 ・運賃（中学生以上）ー500円（乗合発生時300円）